

# 福生市議会 だより

## FUSSA

No.185

発行 福生市議会  
平成24年10月25日  
〒197-8501 福生市本町5番地  
☎042 (551) 1511 (代表)  
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

### 平成24年 第3回定例会

# 平成23年度決算を認定

主な内容	
可決された案件	2面
平成23年度決算審査	3面
一般質問	4~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面

平成24年第3回定例会は、9月3日から9月28日までの会期26日間で開催され、17人の議員が一般質問を行なった後、条例の制定・一部改正、補正予算、各会計決算、行政委員の任命・選任等18議案、委員会提出議案1件と、陳情2件などの審議が行なわれました。

### 本会議の経過

▼1日目(3日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日、また、国民体育大会リハーサル大会等を考慮して、定例会の会期を26日間と決定しました。

続いて、6人の議員が、指定管理者制度導入で得た効果について、横田基地の塙について、成年後見制度の問題・課題について、消防団員の健康診断について、平成22年度税制改正の市民に対する影響について、放課後等児童デイサービスの実現に向けての取り組み

についてなど市政全般にわたる内容の一般質問を行いました。

された議案の提案理由の説明後、2件の議案について即決し、その他の議案9件及び陳情1件が所管の委員会に付託されました。

続いて、平成23年度福生市一般会計決算認定及び各特別会計決算認定4件について、提案理由の説明と監査結果報告がされ、所管の委員会に付託し審査されることになりました。

なお、平成23年度福生市一般会計決算認定については、特別委員会を設置・付託し、審査することになりました。

▼2日目(4日)は、5人の議員が、増大する生活保護費の対応・対策について、福生七夕まつりの目標と課題とこれからについて、認定子ども園の今後の設置の見通しについて、市民出資による自然エネルギー・省エネルギー推進について、学校教育についてなどの一般質問を行いました。

▼3日目(5日)は、5人の議員が、ジェイ・アラートについて、福生市清潔で美しいまちづくり条例について、温室効果ガス排出量削減の進捗状況について、放射能測定結果の公表について、福祉保健行政(アレルギー対策)についてなどの一般質問を行いました。

▼4日目(6日)は、1人の議員が、国民健康保険税及び窓口負担の軽減についてなどの一般質問を行いました。

続いて、市長から提出された議案の提案理由の説明後、2件の議案について即決し、その他の議案9件及び陳情1件が所管の委員会に付託されました。

▼5日目(28日)は、最終日で、委員会へ付託された議案14件を可決・認定し、継続審査となっていた陳情書1件を採択し、新たに提出された陳情書1件は不採択としました。また、委員会提出議案1件(意見書提出)及び市長提出議案2件を慎重審議の上、即決で可決・同意しました。

なお、継続審査となっていた陳情1件は、更に継続し、慎重に審査していくことを決定し、今定例会を終了しました。

委員会提出議案第5号  
駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書

駐留軍関係離職者等臨時措置法は、去る平成20年に行われた有効期限の5年延長により、平成25年5月16日までとなっている。

また、在日米軍再編に伴う規模縮小が見込まれており、駐留軍労働者の離職者対策は、重要性を増している。

よって、福生市議会は、国会及び政府に対し、駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限をさらに延長し、日本人従業員の雇用安定確保及び離職者対策に万全を期するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長)

### 陳情

今定例会の各委員会で審査され、採択及び不採択となった陳情は次のとおりです。

◆採択  
○「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の延長に関する陳情書(24・4号)

◆不採択  
○垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの普天間基地への配備と日本本土での低空飛行訓練に反対し、横田基地への飛来を許さない意見書を政府にあげることを求める陳情書(24・6号)

(不採択理由) 本陳情書は、不確定な内容があり、意に沿いがたい。



▲熱戦が繰り広げられた国体リハーサル大会・全日本総合女子ソフトボール選手権大会

# 可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▼賛成多数

## ◎福生市防災会議条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の一部改正に伴い、福生市防災会議の所掌事務及び委員の規定を改め、その他、用語の整理等を行なうもの。

## ◎福生市災害対策本部条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の一部改正に伴い、引用する規定を改め、併せて文言整理を行なうもの。

## ◎福生市職員の自己啓発等休業に関する条例

大学課程の履修または、青年海外協力隊等の国際貢献活動に従事し、その経験が、その後の公務に有用であると判断した場合、職員としての身分を残して休業することを認めるため、必要な事項を定めるもの。

## ◎福生市下水道事業基金条例

福生市下水道総合計画に基づき、下水道の建設・維持管理等の運営資金に充当するための基金を設置するもの。

◎東京都市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について  
福生市を含む市町村や、一部事務組合で構成する東京都市町村公平委員会に「稲城・府中墓苑組合」が加入するため、規約の一部改正するもの。

◎東京都市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の増加及び東京都市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について  
福生市を含む市町村や、一部事務組合で構成する東京都市町村議会議員公務災害補償等組合に「稲城・府中墓苑組合」が加入するため、規約の一部改正するもの。

◎平成24年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)  
平成23年度の介護給付費等の確定に伴い、収入済額と実績額との過不足の精算を行なうため、歳入歳出それぞれ4008万4千円を追加し、予算総額を32億9050万円と定めるもの。

◎平成24年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)  
平成23年度の決算に基づく繰越金の追加、歳出に新たに基金積立金を設置し、歳入歳出それぞれ1億6832万9千円を追加し、予算総額を20億1888万4千円と定めるもの。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)  
東京都の緊急雇用創出事業臨時特別補助金等を活用した事業等を実施するため、歳入歳出予算にそれぞれ5億2922万8千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ226億5321万7千円と定めるもの。

◎平成24年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
歳入では一般会計繰入金金の増額、歳出では、国庫支出金精算返還金の増額及び前年度繰上

充用金の確定に伴う減額を主とし、歳入歳出それぞれ8824万5千円を追加し予算総額を67億9252万1千円と定めるもの。

◎平成23年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)  
平成23年度の介護給付費等の確定に伴い、収入済額と実績額との過不足の精算を行なうため、歳入歳出それぞれ4008万4千円を追加し、予算総額を32億9050万円と定めるもの。

◎平成23年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)  
平成23年度の決算に基づく繰越金の追加、歳出に新たに基金積立金を設置し、歳入歳出それぞれ1億6832万9千円を追加し、予算総額を20億1888万4千円と定めるもの。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第2号)  
東京都の緊急雇用創出事業臨時特別補助金等を活用した事業等を実施するため、歳入歳出予算にそれぞれ5億2922万8千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ226億5321万7千円と定めるもの。

◎平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について  
予算現額は、当初予算額に6回の補正予算を行ない、歳入歳出とも



▲汚水ます設置工事

◎平成23年度福生市一般会計決算認定について  
予算現額は、当初予算額に6回の補正予算を行ない、歳入歳出とも

◎平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について  
予算現額は、当初予算額に6回の補正予算を行ない、歳入歳出とも

算に1回の補正予算を行ない、歳入歳出とも8億8153万9千円、歳入決算額は8億8450万1695円、前年度比で2572万3791円の増、歳入歳出差引残額は2009万6548円となった。

◎平成23年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について  
予算現額は、当初予算に3回の補正予算を行ない、歳入歳出とも69億4363万4千円、歳入決算額は67億1735万2884円、前年度比で8億6930万6273円の増となり、歳入歳出差引歳入不足額は1250万3505円で、翌年度歳入から繰上充用金1250万3505円を補てんした。

◎平成23年度福生市介護保険特別会計決算認定について  
予算現額は、当初予算に1回の補正予算を行ない、歳入歳出とも31億9410万7千円、歳入決算額は31億2040万1159円で、前年度比1億1468万4345円の増となり、歳入歳出差引額は839万6270円となった。

◎福生市教育委員会委員の任命について  
長谷川貞夫氏の任期満了に伴い、新たに徳永喜昭氏を教育委員会委員に任命するもの。

◎福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について  
佐藤正明氏が任期満了となるが、引き続き固定資産評価審査委員会委員として選任するもの。

◎市道路線の認定について  
牛浜駅のバリアフリー化を進めている工事の進捗に伴い、自由通路を市道第1277号線として認定し、管理するもの。

◎福生市教育委員会委員の任命について  
長谷川貞夫氏の任期満了に伴い、新たに徳永喜昭氏を教育委員会委員に任命するもの。

## 討論

### ◎平成23年度福生市一般会計決算認定について

■賛成  
厳しい状況の中、歳入で防衛補助9条交付金の大幅増額、歳出で実質収支6億2千万円の繰越しなど財源の有効活用を図った。「5つの元氣」政策をはじめ第4期総合計画の推進に向けた更なる努力を要望し、賛成する。

■反対  
①横田基地の飛行回数や交付金増へ働きかけ、②自転車駐輪場無料化、③国保税引下げ、④学校給食の食品丸ごと放射能測定、⑤中学校給食対策、⑥通学地域分離問題の検討もないので、反対する。

●次の議案に賛成討論がありました。

◎平成23年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について  
●平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

●平成23年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

●平成24年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

●平成23年度福生市一般会計決算認定について

●平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

●平成23年度福生市一般会計決算認定について

●平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

●平成23年度福生市一般会計決算認定について

## 「議会日誌」

- 7月
  - 3日 災害に強いまちづくり特別委員会行政視察(4日まで)
  - 5日 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会議、理事会、概要要求前実行運動
  - 10日 長崎県長崎市視察来市
  - 13日 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会議
  - 17日 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会
  - 19日 横田基地対策特別委員会・要請行動
  - 20日 議会運営委員会
  - 23日 福生病院組合議会臨時会
  - 24日 西多摩地域広域行政協議会審査委員会代表者会議
  - 24日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 8月
  - 6日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
  - 9日 東京都市議会議長会定例会
  - 19日 沖繩県沖繩市・浦添市視察来市
  - 24日 例月出納検査
  - 27日 議会運営委員会
  - 29日 災害に強いまちづくり特別委員会
  - 30日 全国都市監査委員会定期総会(31日まで)
- 9月
  - 3日 第3回定例会1日目
  - 4日 第3回定例会2日目
  - 5日 第3回定例会3日目
  - 6日 第3回定例会4日目
  - 7日 建設環境委員会
  - 10日 市民厚生委員会
  - 11日 総務文教委員会
  - 13日 決算審査特別委員会(19日まで)
  - 18日 横田基地対策特別委員会
  - 25日 災害に強いまちづくり特別委員会
  - 26日 例月出納検査
  - 27日 議会運営委員会
  - 28日 第3回議会改革検討協議会
  - 28日 第3回定例会5日目
  - 28日 議会運営委員会

# 平成23年度決算の概要

今回の定例会に、平成23年度一般会計決算及び4つの特別会計決算が提出されました。本会議では、一般会計決算については18名で構成する決算審査特別委員会を設置して付託され、9月13日・14日・18日・19日に行なわれ、特別会計決算については建設環境委員会、市民厚生委員会に付託され、それぞれ原案のとおり認定されました。

## 一般会計決算の審査から

### 東日本大震災に伴う賠償請求について

問 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、さまざまな対応を行なっていると思うが、支出した金額について東京電力に賠償請求をするか。

答 福生市においては、市民プールと横田基地からの雨水幹線の放射線測定を委託しているが、これは特別交付税の対象となる。また、小学校給食と中学校のランチルームにおける放射性物質の検査も実施しているが、6万3千円と少額の支出であり、念のために実施したもので、賠償請求する考えは、今のところはない。

### 標準世帯における収入ベースの比較は

問 標準的な世帯の年収ベースで、平成23年度は

答 平成23年度は、近隣市との比較はどうか。平成23年度の市民1人当たりの市民税個人の人当り収入は360万円となり、平成22年度と比較して1万5千円の減となる。また、市民1人当たりの市民税個人の人当り収入は、福生市は26市中の23位で近隣市では、あきる野市が25位、青梅市が24位、羽村市が20位、昭島市は19位となっている。

### 地球温暖化対策等推進区市町村補助金について

問 この補助金6545万1千円の内訳を教えてください。

答 次世代モビリティ活用モデル事業として、拠点整備やシステム構築費

### 安全安心まちづくり協議会について

問 この協議会の役割は。また、協議会設立後3年が経過したが、これまでの内容について何う。

答 この協議会は、安全安心まちづくりの推進に関する基本的な事項について、市長の諮問に応じるほか、市長に対し必要な意見を述べることで、防

### 国体PR効果について

問 平成25年の国体で、福生市には女子ソフトボールが来るが、PRや経済効果等について何う。

答 平成23年度は、PRグッズの配布、国体PRポスターの募集、横断幕や懸垂幕の掲出といった、主に広報啓発に資するものに予算を投じた。しかし、周知はまだ足りないと感じている。今年度はさらに効果的な広報活動を行なっていく必要があると考えている。なお、経済効果についてはまだ算出していない。

### 母子・女性緊急一時保護事業について

問 DV等から女性や母子を守るための事業がゼロであったことは非常に喜ばしいが、もし発生した場合、どこに計上されるか。また、母子生活支援施設入所事業との違いは。

答 母子生活支援施設入所委託料の中の母子・女性緊急一時保護委託料に計上される。母子・女性緊急一時保護事業は、2週間程度の保護で終了するのが一般的だが、母子生活支援施設入所事業は母子家庭の自立支援のために生活支援を行なう施設入所で、おおむね2年をめどとしている。

### 環境マネジメントシステム、L A S I E の効果は

問 環境マネジメント市民監査委員謝礼、環境マネジメントシステム支援委託料、環境自治体会議負担金等、L A S I E の関係で約100万円支出しているが、どのような効果があったか。

答 環境推進委員会や目標設定チーム会議、環境

### 商店街装飾灯補助金について

問 LEDに変えたことによる電気代の削減効果は。また、この事業は補助が出るまで工事費を一時的に各商店街で立て替

答 LEDに変えたことによる電気代の削減効果は、また、この事業は補助が出るまで工事費を一時的に各商店街で立て替

### 通学区域について

問 就学指定校変更制度

答 平成23年度の電気料は前年度に比べて4万8435円、約4%削減された。また、この事業は商店街が直接都に申請し、一時的に立て替えをして、都の補助を仰ぎ、都の補助が確定してから商店街の負担分の2分の1を市が補助する形になっている。体力がない商店街には難しい事業であり、補助を理由とした申請は受け付けていない。また、町会が分かれていることを理由とした申請については、平成23年度は検討

### 学校支援地域組織事業の進捗状況について

問 平成23年度の進捗状況を伺いたい。

答 学校支援地域組織事業は、学校の教育活動を支援するため、学校の教育的ニーズと地域のボランティアの力をつなぎ合わせる、地域ぐるみで学校教育を支援する取り組みである。平成23年度は、当初、3校での開設を目指していたが、予定を上回り、小・中5校で開設

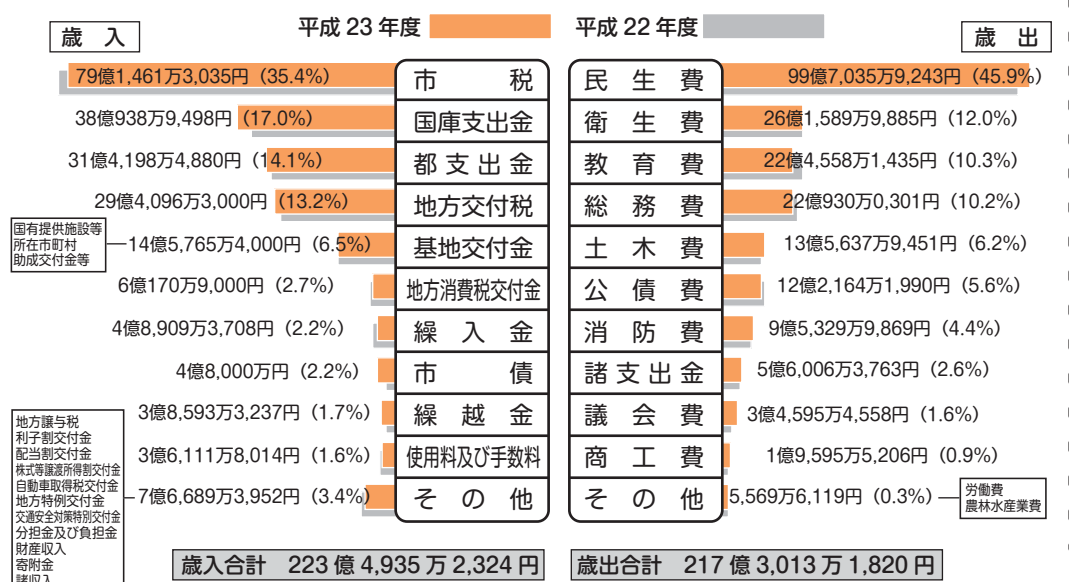


▲平成23年度一般会計決算を起立多数で認定

## 平成23年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	223億4,935万2,324円	217億3,013万1,820円	6億1,922万0,504円
特別会計			
国民健康保険特別会計	67億1,735万2,884円	67億2,985万6,389円	▲1,250万3,505円
介護保険特別会計	31億2,040万1,159円	31億1,200万4,889円	839万6,270円
後期高齢者医療特別会計	8億8,450万1,695円	8億6,440万5,147円	2,009万6,548円
下水道事業会計	15億8,572万0,264円	13億6,739万1,363円	2億1,832万8,901円
総合計	346億5,732万8,326円	338億0,378万9,608円	8億5,353万8,718円

## 平成23年度 一般会計決算の款別内訳 ( )内の数字は合計に占める割合



国が提供施設等所在市町村補助交付金等

労働費 農林水産業費

### 所得税、個人住民税の急増による影響及び福生市の対応

乙津 豊彦 議員

質問 平成22年度税制改正により影響が出る福生市の制度はどのくらいあるか。また、それに対して市はどのような対応策をとられたか。

市長 福生市で税制改正の影響を受ける制度や事業は28となっている。しかし、国は法律改正や通知の発出を行って税制改正による影響を抑える措置を講じており、これに基づき再計算をして対応しているので、市民への影響はない。



▲住民税（市・都民税）納税通知書

## 一般質問 (要旨)

### 市政のここが聞きたい

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり一般質問を行ないました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし、4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

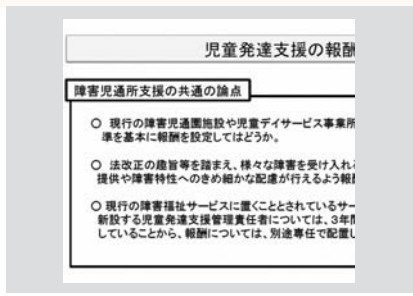
詳しくは、11月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

### 放課後等児童デイサービスの実現に向けた市の取り組み

青海 俊伯 議員

質問 放課後等児童デイサービスの実現に向けての市の取り組みを確認したい。

市長 放課後等デイサービス事業所を開設しようとする民間法人等への支援として、補助割合10割の東京都障害者自立支援基盤整備事業補助金の申請を案内し、東京都所管課へ相談するようアドバイスしている。東京都との協議の際には推薦意見等の協力を行っている。



▲児童デイサービスの検討資料（厚生労働省）

### 指定管理者制度導入によってどのような効果が得られたか

武藤 政義 議員

質問 福生市では平成18年度より指定管理者制度が導入されたが、それにより得られた効果を伺いたい。

市長 指定管理者制度を導入した全施設の6年間の累計で、直営で行った場合と比較して約6億円のコスト削減効果があったと試算している。また、民間の専門的知識や技術、ノウハウあるいはスケールメリットを生かした管理運営がなされ、市民サービスの向上にもつながっている。



▲指定管理者に運営されている福生市民会館

### 生活保護費が増大する中、メリハリのある生活保護行政を

末次 和夫 議員

質問 住宅扶助費の直接納付などできることを行い、就労支援など自立支援に力を入れる一方、不正受給防止のための審査の厳格化を行うなど、メリハリのある生活保護行政が必要ではないか。

市長 自立に向けての就労支援の強化や重複・頻回受診の縮減、ジェネリック医薬品の使用勧奨等の徹底により、生活保護制度を適正に運営し、生活保護費の抑制を図りたい。



▲生活保護の受付窓口及び相談室

### 横田基地の景観活用上、現在の塀をどのように考えるか

町田 成司 議員

質問 横田基地の塀がなぜ金網ネットからコンクリート防護壁になったのか。金網ネットに戻すよう要望する考えはないか。

市長 国道16号線の拡幅後、道路に近接する居住者への国道からの自動車騒音や排気ガスを軽減するため、米軍の負担で塀にしたもので、米軍からは、現状のままが望ましいと考えているので理解いただきたいとのことであった。



▲国道16号線沿いの横田基地の塀

### 今年62回目を迎えた福生七夕まつりの今後の展望は

大野 悦子 議員

質問 市民模擬店の取り組みが始まってから市民まつりのイメージが強くなっているが、変化する社会経済状況の中で、今後どのような取り組みを行っているのか。

市長 福生七夕まつりは市の知名度を上げ、商業振興に寄与している。今後も変化を恐れない攻めの姿勢で、実行委員会を初め市民の皆様とともに七夕まつりをつくり上げていきたい。



▲第62回福生七夕まつり

### 需要の増加が見込まれる成年後見制度の問題と課題は

柳川 英司 議員

質問 家族関係の希薄化に伴い、成年後見人申し立て件数は右肩上がりで増えており、今後もその傾向は続くと考えられるが、この制度の問題と課題について伺いたい。

市長 制度の周知不足や、申し立て手続の煩雑さ、費用負担の大きさ等、さまざまな問題点がある。今後、増大していく需要に見合うだけの成年後見人をいかに確保・育成していくかが大きな課題となる。



▲社会福祉協議会内の成年後見センター福生

### 認定こども園の今後の設置の見通しは

大野 聡 議員

質問 今回の補正予算案で認定こども園の開設が提案されているが、今後、施設設置の見通しや、市の支援について伺いたい。

市長 市内の学校法人から認定こども園の開設計画案を受けており、支援するための補正予算を本議会に計上している。来年4月の待機児童の状況を見ながら、今後の設置や支援の方向性について検討したい。



▲開設から3年目を迎える牛浜こども園

### 消防団員に対する健康診断の充実に取り組んでほしい

清水 義朋 議員

質問 平成16年消防庁通知で、消防団員等に対する健康診断等の充実を要請されているが、市ではどのように対応しているか。

市長 現在、自営業を営んでいる等の40歳未満の消防団員約40名については、健康診断受診の有無を把握していない。健康管理の充実のために健康診断は重要であり、受診機会のない団員については、今後、市での健康診断の実施を検討したい。



▲福生消防署管内消防団員研修会(健康管理等セミナー)の様子

### エネルギー及びCO<sub>2</sub>削減政策の進捗と取り組みについて

堀 雄一朗 議員

質問 「福生市地域新エネルギービジョン」により、当市では2003年度を基準として2030年のCO<sub>2</sub>50%削減を目指しているが、現在の進捗状況を伺いたい。

市長 原発事故以降、発電に係るCO<sub>2</sub>排出係数や燃料構成が変化しており、現時点での正確な数値は出せないが目標達成が困難だと考えられる。市民・事業者と協力しながら地球温暖化防止に今後も取り組みたい。



▲カーシェアリング事業の電気自動車

### 市民出資による自然エネルギーや省エネルギーの推進を

池田 公三 議員

質問 長野県飯田市では、全国の方から出資を募り、初期投資0円で太陽光発電設備を設置できる「おひさま0円システム」を導入しているが、当市でも同様の仕組みを導入できないか。

市長 飯田市の取り組みは先進事例として注目している。創エネや省エネに関しては、市民や市民団体から責任が明確で実現可能な提案があれば協議したいと考えている。



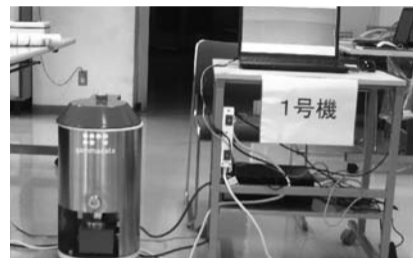
▲リサイクルセンターの太陽光パネル

### 給食食材の放射能測定結果とともに検出下限値の公表を

阿南 育子 議員

質問 現在、給食食材の放射能測定結果が公表されているが、検出下限値が示されておらず、不十分である。検出下限値を公表することはできないか。

教育長 安全が確認された食材だけを調達するなど、食の安全には細心の注意を払っているが、福生市で公表するに当たり、食材の種類や産地とともに、検出下限値を公表することは可能である。



▲食材の放射能を測定

### 生徒が自己肯定感を高める教育研究の推進を

杉山 行男 議員

質問 二中で実施している「生徒が自己肯定感を高め、たくましく生きる『福生っ子』の育成をめざして」という研究実践の状況や、今後の取り組みを伺いたい。

教育長 生徒の自己肯定感を高めることをねらいとして、特別支援教育の視点を持ちながら、学習指導・道徳活動・特別活動の研究を進めている。今後は、生徒の心理調査を活用した実践に取り組んでいく。



▲道徳授業地区公開講座の様子（二中）

### 携帯用アドレナリン自己注射製剤の保護者や市民への周知を

五十嵐 みさ 議員

質問 アナフィラキシーショックの緩和に用いる携帯用アドレナリン自己注射製剤の知識や取り扱い機関等を全市民に周知してはどうか。

市長 この製剤は処方により出される薬であり、厚生労働省通知に抵触するおそれもあるためその効果や効用等の周知は難しいが、生命にかかわる問題であるので、取り扱う医療機関については、福生市医師会と相談の上、市民の皆様へ周知したい。



▲携帯用アドレナリン自己注射製剤使用訓練

### ジェイ・アラートは市民に浸透しているか

岩崎 百合子 議員

質問 福生市は平成23年4月1日から全国瞬時警報システム、ジェイ・アラートの運用を開始しているが、市民に浸透しているか。今後、啓発などを行う計画はあるか。

市長 ジェイ・アラートの運用開始に際して、市広報やホームページ、チラシによる周知を図ったほか、昨年度の総合防災訓練から、ジェイ・アラートの試験放送として緊急地震速報を訓練開始前に放送している。



▲ジェイ・アラートのお知らせ用チラシ

### 国保税減免制度をもっと周知し税引下げを求める

奥富 喜一 議員

質問 国保法に定める減免措置とその周知をどう徹底しているか。1人1万円の税引下げの考えはないか。

市長 保険税の減免については、国保法77条に基づく本市条例で災害等で著しく生活困難となり納付困難な場合としており、一部負担金の減額ともあわせ市のホームページで公開している。赤字決算下であり、保険税引下げは独立会計の原則や受益者負担の観点から考えていない。



▲国民健康保険被保険者証

### 歩行喫煙・ポイ捨て禁止のシールを路面に貼って啓発を

原田 剛 議員

質問 路上喫煙禁止を行っている他市では、路面に禁止のシールを貼っている。重点区域や路上禁煙区域を設定しなくても、歩行喫煙やポイ捨て禁止のシールを貼れば認知度は上がるのではないか。

生活環境部長 他市でそのようなシールをよく見かけるが、大変気づきやすく、効果は大きいと思われるので、今年度、早期に広報周知の一つの手法として採用したい。



▲路上喫煙・ポイ捨て防止啓発シール(豊島区)

## 次回定例会のお知らせ

平成24年第4回定例会は、12月4日(火)から12月21日(金)までを予定しています。

- ◆本会議 (予定) 午前10時開会  
12月4日(火)～12月7日(金)及び12月21日(金)
- ◆常任委員会 (予定) 午前10時開会  
12月11日(火)～12月13日(木)

#### ★市議会を傍聴してみませんか★

本会議・委員会はどこでも傍聴できます。  
傍聴の受付は会議の当日、市役所第2棟3階の議会事務局で行います。

## ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただくとおもいます。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

#### ◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像  
※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

#### ◆アクセス方法

福生市公式ホームページ  
(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

平成24年 第3回  
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 武藤 政義 (一括)	1 指定管理について (1)指定管理者制度導入で得た効果について (2)業務委託と指定管理の違いについて (3)市と指定管理者とのつながりについて 2 各実行委員会の事務局としての業務について (1)各実行委員会における事務局のあり方について (2)事務局として委譲されている権限について 3 特定保健指導について (1)保健指導の内容について (2)近年の受診率、傾向について	⑩ 池田 公三 (一問一答)	1 中学校給食について (1)現行方式の検証を、いつ、どのような内容で行うか (2)昼食対策のみでなく、学校給食法の精神にのっとり、食育教育としての公的責任を果たすことについて (3)ランチルームを生かす自校方式の中学校給食について 2 自然エネルギーの推進について (1)福生スクラム・マイナス50%協議会での自然エネルギー協働推進事業の検討状況について (2)市民出資による自然エネルギー推進、省エネルギー推進について
② 町田 成司 (一問一答)	1 福生市の観光行政について (1)福生市の観光事業について (2)ふっさ十景について (3)横田基地の堀について	⑪ 杉山 行男 (一問一答)	1 防災行政無線について (1)難聴地区対策の調査及び対応について 2 横田基地について (1)横田基地日米友好祭の状況について 3 外国人登録法の廃止と住民基本台帳法改正について (1)外国人登録法の廃止、住民基本台帳法改正に伴う業務の進捗状況について 4 学校教育について (1)二中で実施している、生徒が自己肯定感を高める教育研究について (2)副教材「心みつめて」について
③ 柳川 英司 (一括)	1 安全安心まちづくりの推進について (1)防犯まちづくりの推進について (2)現在の防犯対策としての取り組みについて 2 成年後見制度について (1)成年後見制度の現状と周知の取り組みについて (2)成年後見制度の問題・課題について	⑫ 岩崎 百合子 (一括)	1 ジェイ・アラートについて (1)市民の認知の現状について (2)今後の対応について 2 大勢の定年退職者世代の対応について (1)現在の職員の状況について (2)今後の対応について
④ 清水 義朋 (一括)	1 消防団員の健康管理について (1)消防団員の健康管理の現状について (2)消防団員の健康診断について 2 ジュニアスポーツの育成について (1)福生市におけるジュニアスポーツの育成について	⑬ 原田 剛 (併用)	1 ワクチン接種事業について (1)ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンについて (2)水痘・おたふくかぜ・成人用肺炎球菌・B型肝炎ワクチンについて (3)乳幼児・小児のワクチン接種について 2 福生市清潔で美しいまちづくり条例について (1)巡回調査の状況について (2)条例施行後の取り組みと評価について (3)喫煙場所について
⑤ 乙津 豊彦 (併用)	1 情報公開制度から見た文書の管理について (1)文書管理システムについて (2)市民に対する市政情報の積極的な提供について (3)文書の保存について 2 平成22年度税制改正の市民に対する影響について (1)扶養控除の一部廃止に伴う個人住民税への影響は (2)所得税、個人住民税の急増に対する福生市の対応は (3)これらに対する市民への周知は	⑭ 堀 雄一郎 (併用)	1 エネルギー及びCO2削減政策について (1)温室効果ガス排出量削減の進捗状況について (2)再生可能エネルギーの導入目標について (3)2030年の生活モデルについて 2 学校図書館について
⑥ 青海 俊伯 (一括)	1 放課後等児童デイサービスの実現に向けて (1)基本的な考え方 (2)長期休暇期間中の対応 (3)実現に向けての取り組み 2 在宅介護の充実について (1)「お泊りデイ」について (2)老健施設について	⑮ 阿南 育子 (一問一答)	1 緑地保全について (1)福生の緑の現状と、保全や増加させていくことについて 2 災害瓦れき広域処理説明会開催について 3 放射能測定について (1)保育園・幼稚園の給食食材について (2)測定結果の公表について (3)今後の食材測定環境の整備について 4 子どもの「生きる力」をはぐくむ環境について (1)福生のいじめの現状と対策 (2)「生きる力」をはぐくむことについて
⑦ 末次 和夫 (併用)	1 第5次行政改革大綱「自律した自治体の確立」について (1)3つの基本方針及び目標数値の進捗状況について (2)行政改革重点項目の具体的な取り組みについて 2 生活保護について (1)生活保護の現状について (2)就労支援について (3)不正受給について (4)医療扶助費及び住宅扶助費について (5)ケースワーカーについて (6)増大する生活保護費の対応、対策について	⑯ 五十嵐 みさ (一括)	1 福祉保健行政(アレルギー対策)について (1)教育・保育現場等での携帯用アドレナリン自己注射製剤の管理・使用について (2)教師や保育士等の携帯用アドレナリン自己注射製剤使用の講習について (3)携帯用アドレナリン自己注射製剤の保護者や市民への周知について 2 スポーツ推進政策について (1)「するスポーツ」の推進について (2)チャレンジデーへの参加について
⑧ 大野 悦子 (一括)	1 市内設置看板について (1)公共施設を含む市内設置看板の現状について 2 福生七夕まつりについて (1)第62回福生七夕まつりを終えて (2)福生七夕まつりの目標と課題とこれからのについて	⑰ 奥富 喜一 (一問一答)	1 米軍横田基地について (1)「オスプレイの横田基地への飛来・訓練計画の中止を」について (2)横田基地でのパラシュート降下訓練の中止を求めることについて 2 国民健康保険税及び窓口負担の軽減について (1)国保税の滞納状況と資格証明書、短期保険証の現状等について (2)国保加入世帯の平均所得の推移と近隣市比較について (3)国保法77条、44条の減免制度の周知及び税の軽減措置について 3 福祉バスの現状と今後について 4 市民誰もが利用可能なコミュニティバスについて 5 高齢者居住支援特別対策事業の継続について
⑨ 大野 聡 (一括)	1 認定こども園について (1)現在の認定こども園の運営状況と課題について (2)今後の設置の見通しについて 2 児童・生徒のいじめ問題について (1)市内小・中学校におけるいじめの実態とその対応について(教委、学校) (2)平成24年7月17日付け、教育庁指導部長からの「いじめの実態把握のための緊急調査について(通知)」の教育委員会の対応について 3 生涯学習施設の使用料と保育料(保護者負担金)について (1)生涯学習施設や体育施設の使用料設定の基本的な考え方と改定の経緯及び今後の改定の見通しについて		

# 委員会の審査から

## 建設環境委員会

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案及び陳情と、継続審査となっていた陳情の審査が9月7日、10日、11日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行なわれました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行なわれました。それから、横田基地対策特別委員会、災害に強いまちづくり特別委員会が9月25日に行なわれました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

9月7日に委員会が開催され、開会後、10月21日から供用開始となる市道路線（牛浜駅自由通路）を視察し、その後、議案5件と陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

### ◎福生市下水道事業基金

#### 条例

問 「円滑な運営に要する資金に充当するため」という、条例第1条についての具体的な説明を。

答 この基金は、今後30年間、老朽化した汚水管渠の改築、入れ替え等、下水道施設の維持管理に充当するため、今後予想される事業約16億円の不足分を補う目的の基金である。



▲牛浜駅自由通路を視察(H24.9.7)

問 昨年度の実績に今年度の燃料調整額並びに9月からの電気料の値上が

り分を加味した形で算定しており、基本的には調整額は出ない金額である。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

答 約1億7千万円の繰越金を基金に繰り入れるとのことだが、福生市の下水道料金の単価は、都内26市中何番目になるか。

答 都内では単価の低いほうから3番目、全国では4番目の安さになる。

◎平成23年度福生市下水道事業会計決算認定について

問 横田基地内の下水道使用料が大幅に伸びた理由について。

答 1万立方メートルを超える下水道使用料の立方メートル単価を290円から335円への改定と汚水排出量も前年度比



▲元気に遊ぶ子どもたち

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成23年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

問 今年補正するその他一般会計繰入金に国庫支出金精算返還金も含んでいるのか。

答 国庫支出金精算返還金の財源が無いことから、繰入金を追加した。

◎平成24年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 介護給付費準備基金を繰り入れてまで、一般会計繰入金として他会計に繰り出す理由は。

答 介護保険特別会計は3年間を1期間として運営、平成21年度と平成22年度に積み立てた介護給付費準備基金は、介護保険特別会計が不足した場合、繰り入れて精算するルールとなっている。

◎平成23年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問 国民健康保険税納納努力の内容、重複・頻回受診者訪問指導委託料の内容と効果は。

答 再任用や嘱託職員を配置し、窓口体制の強化を図り、財産調査や差し押さえ等に力を入れた。重複・頻回受診者等訪問指導委託料は、同じ月に同じ病気で複数の病院にかかった方、同じ月に同じ病気で何回もかかった方を抽出し、適正受診について訪問指導を実施し

た。

◎平成23年度福生市介護保険特別会計決算認定について

問 筋力向上トレーニング委託費、口腔機能向上指導委託費、低栄養改善指導委託費、介護予防普及啓発事業費の効果は。

答 筋力向上トレーニングを受けた方が介護を受けずに、翌年も筋力向上トレーニングを続けており、効果は上がっている。

◎平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

問 温泉施設利用助成事業の利用が増えている。市民への周知努力をどのように行なったか。

答 年1回の健康診査案内に温泉事業のパネルを貼り入れ周知を図った。以上6件、いずれも原案のとおり可決しました。陳情1件についても意見が出され採択されました。

## 市民厚生委員会

9月10日に委員会が開催され、議案6件と陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

問 温泉施設利用助成事業の利用が増えている。市民への周知努力をどのように行なったか。

答 年1回の健康診査案内に温泉事業のパネルを貼り入れ周知を図った。以上6件、いずれも原案のとおり可決しました。陳情1件についても意見が出され採択されました。

◎福生市職員の自己啓発等休業に関する条例

問 国際貢献の期間について詳細、延長の事例は。

答 国家公務員の自己啓発等休業等に関する法律があり、準拠している。延長は、現地からの要請等、独立行政法人国際協力機構から要請が来た場合が考えられる。

## 総務文教委員会

9月11日に委員会が開催され、議案4件と陳情1件を審査しました。

◎福生市防災会議条例の一部を改正する条例

問 所掌事務の改正、詳細は。また、なぜ防災会議に自衛隊が必要なのか。

答 情報収集を災害対策本部に一元化し、諮問機関としての機能を追加。自衛隊は、多くの災害で

救助等の経験があり情報知識を活かしたいため。

◎福生市災害対策本部条例の一部を改正する条例

問 文言整理の根拠は。

答 公文規定により、常用漢字表に基づく漢字を使うため、条例改正時に文言を整理する。

◎東京都教育委員会から指定を受け、児童・生徒の不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動に対して、保護者との連携を図り、学校における組織的な対応を充実させ、児童・生徒・保護者からの相談等に不登校、外部人材の活用に向けての研究を行なうことを目的とし、対象校は、第一小学校と第四小学校の2校。

以上4件、原案のとおり可決し、陳情1件を不採択としました。

◎福生市職員の自己啓発等休業に関する条例

問 国際貢献の期間について詳細、延長の事例は。

答 国家公務員の自己啓発等休業等に関する法律があり、準拠している。延長は、現地からの要請等、独立行政法人国際協力機構から要請が来た場合が考えられる。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)



▲今年度の総合防災訓練の様子

◎福生市職員の自己啓発等休業に関する条例

問 国際貢献の期間について詳細、延長の事例は。

答 国家公務員の自己啓発等休業等に関する法律があり、準拠している。延長は、現地からの要請等、独立行政法人国際協力機構から要請が来た場合が考えられる。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)



## 議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が開会中も含め6回開催されました。

## 市議会も応援しています 国体リハーサル大会が開催されました!

平成24年9月21日(金)から24日(月)まで福生野球場において「第64回全日本総合女子ソフトボール選手権大会(国体リハーサル大会)」が開催されました。

23日(日)が雨天順延となり、24日(月)に行なわれた決勝戦では、多くの観客が見守る中、前回大会同様、トヨタ自動車対ルネサスエレクトロニクス高崎による戦いとなりました。



試合は、アボット選手(トヨタ)と上野選手(ルネサス)による投手戦となり、「世界トップレベル」の投げ合いが繰り広げられ、延長戦の末、ルネサスエレクトロニクス高崎のサヨナラ勝ちで幕を閉じました。

ボランティアを始め、大会運営に従事いただいた皆さん、ありがとうございました。来年開催の国体本大会に向けて、みなさんの更なるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします!

**来年は国体本大会が  
開催されます!**

第68回国民体育大会ソフトボール競技会(成年女子)  
【会期】平成25年9月29日(日)～10月1日(火)  
【会場】福生野球場・市営競技場

**市民の力で国体を成功させよう!**

## 「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

## 議会の動き

第3次議会改革検討協議会が、7月に1回、定例会中に2回開催されました。7月の第3次議会改革検討協議会では、検討課題の質疑、答弁の時間等について、今回、9月定例会に行なわれる決算審査特別委員会の委員会運営について協議がされました。

限られた時間の中で、前年度の歳入歳出予算の執行結果を総合的に確認し、いかに次年度の予算編成と財政運営に活かすかという観点から、委員がより公平かつ充実した審査が行なえるようにするにはどうしたらよいか、検討しました。

その結果、決算審査においては、「効率のよい、質の高い審査をしていく」ということで、決算資料の事前の読み込みをしていく関係から、常任委員会と決算審査特別委員会の会議日程を入れ替えることや、単なる数字上の質疑や、重複質疑は避け、問題点はないか、改善すべき事項はないか、しっかりとチェックし、次年度の予算に活かしていけるような運営をし、そのことにより、さらに質疑時間や開会時間の効率化にもつなげていくということになりました。

9月26日の第3次議会改革検討協議会では、新たに検討すべき課題について意見を求め、新たに「議会運営委員会の構成について」と「市議会だよりの編集について」検討課題が出され、協議していくことになりました。

その後、委員会における発言回数について、協議がされました。また、検討課題の「議員定数の削減について」は、26市比較の議員一人当たりの経費について、次回資料を提出することになりました。

9月27日の第3次議会改革検討協議会では、7月に協議した決算審査の運営についての検証がされ、概ね充実した審査が行われたとの意見が多く出されました。

## 特別委員会活動から

### 災害に強いまちづくり 特別委員会

7月3日～4日、災害に強いまちづくり特別委員会での調査・研究に活かすため、行政視察を行いました。

◇神戸市「人と防災未来センター」  
阪神・淡路大震災から得た教訓を学びました。

◇愛知県豊橋市  
防災コミュニティの推進と地域の絆づくりを学びました。なお、詳細については次号で報告します。

の精査、整理を行ないました。7月31日、第14回委員会を開催しました。

各委員が自助・共助・公助の3つのワーキングチームに分かれて、それぞれ、より深い検討を行ないました。

8月29日、第15回委員会を開催し、自助・共助・公助の3つのワーキングチームから提出された内容を一覧表にまとめ、検討を行ないました。その結果、市への提言書としてまとめるに当たり、議会からの付議事件である、

- 1. 新たな視点での福生市防災計画の見直し
- 2. 市民生活の安全安心のための措置

の二つの柱に沿って、内容を整理しました。定例会では、9月25日、第16回委員会を開催し、市への提言書(案)の最終整理を行ないました。

また、福生市が東京都地域防災計画修正(素案)に合わせて進めている福生市地域防災計画の見直しに反映させるために、中間報告書を提出することとし、その内容を検討しました。

12月市議会本会議において、最終審査の上、市に提出を予定しています。

### 横田基地対策 特別委員会

9月25日に開催し、2件の議題について審議しました。

1. 横田基地友好祭について

今年の入場者数は、17万8千人で、前年より6万1千人の増加でした。牛浜駅では、9万6千人で前年より2万8千人の増加、拜島駅では2万2千人の増加でした。JRの各駅では事故は無く、どの駅でも利用客の増加が見られました。

交通渋滞については、昭島方面へ常時2km、最長4kmでした。

市の対応としては、横田基地に対し友好祭に関する安全確保及び騒音対策等の要請を行なうとともに、来場者には、牛浜駅に集中しないよう、ホームページのアクセス

情報に、福生駅、拜島駅、東福生駅、熊川駅を掲載して対応をしたとのことでした。

2. 横田基地で行われた演習結果等について、7月に実施された運用即応演習、航空機の通常の運用訓練、9月に実施された緊急管理演習の報告と質疑がありました。

どちらの演習・訓練についても市民からの苦情・問い合わせは無かったとのこと。最後に、理事者から、垂直離着陸機M-V-22オスプレイの沖縄配備について、日本政府がM-V-22オスプレイ運用につき、9月19日に安全宣言したことを受け、防衛省北関東防衛局の担当課長が、9月20日に来庁して説明があった事について資料を提示して説明がありました。

また、福生市は、このM-V-22オスプレイの沖縄配備について、9月21日に単独で文章による申し入れを行ない、24日には、横田基地周辺市町基地対策連絡会でも要請をしたと、どちらも、申し入れ書等の写しを資料として提示し、説明がありました。

◆中秋の名月が見られる9月30日、台風17号が列島を縦断しました。台風一過の翌日、元市長石川彌八郎さんの告別式がご自宅で営まれました。奥庭には市の木であるキンモクセイの香りがほかに漂っていました。



▲神戸港震災メモリアルパークを視察



▲横田基地友好祭(盆踊り)

## 編集後記

例年、9月議会では一般会計決算審査のため特別委員会を設置し4日間をわたって決算の内容を審査します。議会改革の一環として、効率よい質問・答弁を心がけ審査時間の短縮を目指しました。結果として予算審査時に比べ2時間余り短縮することができました◆一般質問の時間も今議会において、一人最大90分から60分とするのを試行しました。市民の皆さまからみていかがでしたでしょうか。殆どの議員が通告するようになり、時間内で会議を終わらせるための改革です。次の定例会でも試行を継続します◆会期中、M-V-22オスプレイの沖縄配備について防衛省北関東防衛局から市長に説明があったことから、議会に報告が行われました。オスプレイの安全性については疑問視する声もありますが、市としてこれからも注視してゆく必要があります

